

エピソード

前日にプラスチック容器の中にドングリを入れて振ってみると「音がするよ!」とビックリ。シャカシャカと音がすることを楽しんでいました。

翌日、保育者が遊びの場に前日よりいろいろな種類の素材を置いておくと、手に取ったペットボトルで何気なく机を叩きました。すると「ポン」と音がしました。「わあ! ペットボトルでも音がする」と驚き、近くにあったいろいろなものを叩いてどんな音がするのか聴き始めました。保育者も驚き、「叩くと音がするんだね」と気付きを言葉にしました。近くにいた友達もその姿を見て、鍋、金ダライ、空き缶など近くにあるものを叩いて「本当だ。音が出た!」「鍋と金ダライで違う音がする」と、順番に音を鳴らして遊ぶことを楽しみました。自分が叩きやすいように並べたり、友達と同じ場でリズムよく鳴らしたりすることを楽しむ姿も見られました。

子ども達が無気なくした行為の結果として、音が聞こえてきました。偶然の出来事から感じたことに、保育者も一緒に驚いて、気持ちを受け止めています。

保育者が大きく反応したり、気付きを言葉にしたりすることで、音が鳴ることに気付いた一人の発見が、近くにいる友達に伝わる姿が見られます。

色々な音を楽しめるように音が鳴りそうなものを、子ども達の手が届くところに集めて置きました。

中にドングリを入れてシャカシャカ



叩くと音がするよ!



いい音!みんなできいてみよう

子どもの育ちや学び

- ・ドングリのマラカスでは、中に物を入れると音が鳴ることに気付きました。
- ・ものを叩くと音がする、叩くものによって違う音がすることを感じ、全身で表現することを楽しんでいます。
- ・友達のしていることに興味をもち、同じ様にやってみる楽しさを感じています。
- ・いろいろな音をリズムをとって叩いたり、表現したりする楽しさを味わっています。

家庭だったら・・・

子ども達は周りの人のしていることをよく見ています。面白いことを友達やお家の人と一緒にする楽しさを感じられたらいいですね。